

日本臨床検査専門医会

平成 28 年度第一回全国幹事会議事録

平成 28 年 3 月 25 日

日本臨床検査専門医会

平成 28 年度 第一回全国幹事会議事録

開催日時：平成 28 年 3 月 25 日(金曜日)12 時 30 分～14 時 00 分

開催場所：ホテル日航高知旭ロイヤル

出席者：登 勉 会長, 東條 尚子 副会長, 本田 孝行 副会長

木村 聡, 佐藤 麻子, 土屋 達行, 古川 泰司, 宮崎 彩子, 盛田 俊介, 米川 修,
三宅 一徳 各常任幹事

紀野 修一, 萱場 広之, 久川 聡, 松下 一之, 増田 亜希子, 〆谷 直人,
中村 文彦, 横崎 典哉, 橋口 照人 各全国幹事, 佐守 友博 監事

欠席者：五十嵐 雅彦, 上原 由紀, 村田 哲也, 和田 隆志, 日高 洋, 長井 篤,

大澤 春彦, 柳原 克紀 各全国幹事, 高木 康 監事

事務局：市川 綾子, 松葉 美知代 (敬称略)

定刻, 登勉会長挨拶の後, 議長として登勉会長を満場一致で選任した。議長は議長席につき開会を宣した。

[審議事項]

第1号議案 議事録署名人選任について

議長は, 本会の議事録署名人の選出を議場に諮り, 下記の2名を議事録署名人として満場一致で選任した。

議事録署名人：久川 聡 全国幹事, 増田 亜希子 全国幹事

第2号議案 平成 27 年度決算報告

議長は, 平成 27 年度の会計報告について, その詳細を資料1(章末に添付)に基づいて三宅一徳庶務・会計幹事に説明させた。予算と決算との差が大きい項目について, 事業経費では, 印刷代は LabCP, JACLAP NEWS 刊行時期と請求との関係で 82 万円程少なくなった。また会員要覧の発行が本年度にずれ込んだため, 未執行である。また, ネットワーク開発費に関しては昨年度補正予算で追加開発費を含め 237 万円を計上したが, 昨年度中に開発が終了せず, 追加開発費分の最終的な支払いを見合わせたため, 未執行となった。最終的な年度収支は, ネットワーク開発を単年度事業経費として計上したため, 約 66 万円の赤字であったことが報告された。

土屋 達行監事より, 高木 康監事とともに収支決算書, 会計書帳簿, 領収書その他の帳簿につき詳細な監査を行い, 適切に運営されていることを確認したことが報告された。また, 監査時に高木 康監事からネットワーク開発費等は特別会計処理が望ましい, また, 予算は年度内に執行すべきとの指摘があったことが報告された。

登 勉会長より、今後はある一定規模の事業については目的特別会計ということで予算立てをしていくことが適切であり、また、赤字会計にならないよう充分注意が必要との発言があった。

以上より平成 27 年度決算報告について議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決された。

第 3 号議案 第 49 回日本臨床検査専門医会総会における講演会

(第 63 回日本臨床検査医学学会学術集会－神戸－)

議長は、自身(登会長)が、専門医のあり方、専門医会の今後について講演することを議場に諮ったところ、満場一致をもって承認された。

第 4 号議案 第 63 回日本臨床検査医学会学術集会共催シンポジウム

議長は、米川 修常任幹事に共催シンポジウムについて詳細を説明させた。

米川 修常任幹事より本田 孝行副会長と協議した結果以下の通りの内容で準備を進めている旨の報告があり、満場一致で承認された。

テーマ:「新人の専門医が挑む“検査データのよみ方” “熟年専門医”と“新人専門医”による
日常検査のよみ方講座」

学会自体が用意してある本格的な RCPC とは異なる、簡単にアプローチできる RCPC5 症例を昨年度専門医試験合格者の方から 5 名選んで回答していただく。

司 会: 本田孝行(信州大学)、米川修(聖隷浜松病院)

コメンター: 松尾収二(天理医療大学)

回答者: 浅香志穂(信州大学医学部附属病院 臨床検査部)

井上貴子(名古屋市立大学病院 中央臨床検査部)

宇野直輝(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

上岡樹生(高知大学医学部 病態情報診断学講座)

辻 剛(神鋼記念病院 膠原病内科)

第 5 号議案 第 28 回(平成 30 年度)春季大会

議長は、第 28 回春季大会について、第 1 回常任幹事会において本田 孝行副会長が大会長として推薦されたことを述べ、本田 孝行副会長に開催予定について説明させた。

本田 孝行副会長より平成 30 年度春季大会は 2~4 月に松本で開催予定であることが報告され、満場一致で承認された。

第 6 号議案 その他

1) 補正予算案について

三宅 一徳庶務・会計幹事より、本年度補正予算についての以下の説明がなされた。本年度

補正予算として本年度に発行がずれ込んだ会員要覧印刷費および昨年度未執行分を含むネットワーク開発費 64 万円の事業経費への追加が必要であることが説明され、ネットワーク維持費、予備費を 0 とした補正予算案(章末資料2として添付)が提案された。

これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認可決された。

2) 参議員選挙への対応について

登 勉会長より、日本臨床検査振興協議会 宮島会長(自民党公認)の参院選の推薦状提出依頼について今回書面の提出は見合わせることを議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

3) その他

登 勉会長より、新規プロジェクト実現に向けた原資として、JACLaS に寄付依頼をしていることが報告された。

[報告事項]

1. 平成 28・29 年度役員について

登会長より平成 28, 29 年度役員および関連団体委員について下記の通り報告があった。

記

会 長： 登 勉

副 会 長： 東條 尚子, 本田 孝行

常任幹事： 木村 聡, 佐藤 麻子, 土屋 達行, 古川 泰司, 三宅 一徳, 宮崎 彩子,
盛田 俊介, 米川 修

監 事： 高木 康, 佐守 友博

全国幹事： 紀野 修一, 萱場 広之, 五十嵐雅彦, 上原 由紀, 久川 聡, 松下 一之,
浅井 さとみ, 増田 亜希子, 〆谷 直人, 村田 哲也, 和田 隆志, 日高 洋,
中村 文彦, 横崎 典哉, 長井 篤, 大澤 春彦, 橋口照人, 柳原 克紀

日本臨床検査医学会連絡委員： 三宅 一徳

JCCLS 委員： 高木 康

WASPaLM 委員： 〆谷 直人, 登 勉

内保連委員： 古川 泰司, 佐藤 尚武

臨床検査専門医・管理医審議会委員： 三宅 一徳, 本田 孝行

臨床検査振興協議会 理事： 登 勉, 高木 康

日本臨床衛生検査技師会(検査と健康展):佐藤 麻子

2. 平成 28・29 年度委員会について

登会長より平成 28・29 年度各種委員会委員について下記の通り報告があった。

記

・情報・出版委員会：

盛田 俊介委員長, 出居 真由美, 清水 力, 信岡 祐彦, 福地 邦彦, 増田 亜希子,
吉田 博

・教育研修委員会：

米川 修委員長, 浅井 さとみ, 萱場 広之, 東田 修二, 宮崎 彩子, 村田 哲也,
山崎 正晴, 菊池 春人(アドバイザー)

・資格審査・会則改定委員会：

土屋 達行委員長, 康 東天, 菊池 春人, 下澤 達雄, 谷口 信行, 田部 陽子,
松浦 知和

・広報委員会：

木村 聡, 五十嵐 岳, 江橋 正浩, 菅野 渉平, 高木 潤子, 田部 陽子, 千葉 泰彦,
古田 眞智, 増田 亜希子

・渉外委員会：

東條 尚子委員長, 木村 聡, 鯉淵 晴美, 小林 礼, 下澤 達雄, 長井 篤,
村上 純子

・保険点数委員会：

古川 泰司委員長, 浅井 さとみ, 島崎 英幸, 清水 力, 田中 郁子, 細川 直登,
松下 一之, 佐藤 尚武(アドバイザー)

・ネットワーク運営委員会：

宮崎 彩子委員長, 河野 誠司, 佐守 友博, 鯉淵 晴美, 増田 亜希子,
土屋 達行(日本臨床検査医学会選出委員)

3. 各種委員会報告

①情報・出版委員会

盛田俊介委員長より明朝8時15分より新メンバーの紹介を兼ねて今後の活動, 問題点を協議の予定との報告があった。

②教育研修委員会

米川 修委員長より本年度の教育セミナーは村田先生・菊池先生のご協力を得て 5 月 22 日(日)に慶應大学医学部にて開催予定。今回諸事情により実技のデモンストレーションは省き,

実技の DVD を配布する。実技は自施設でやっていただく形にしたい。今年度新たな試みとして、昨年度専門医試験に合格した方の中から首都圏在住の3名を選び体験談を語っていただく。慶應大学医学部での開催は今回限りとのことなので、来年度以降先生方の中からお協力をお願いしたい旨の報告があった。

③資格審査・会則改定委員会

土屋 達行委員長により今年度に入り新規入会希望者が5名あり、入会審査の結果全員入会が承認された。現在各委員会で内規が作成されているが、各委員会の内規はまず三役の方々に確認いただき、各委員会から資格審査・会則改定委員会で検討するという運用を取りたいとの報告があった。

会則改定については現在新専門医制度が着々と進行しており、おそらく会則改定が必要な時期が来る。現在当会の会員は A 会員、B 会員であるが、これは日本検査医学会認定の専門医有無であり、今後機構認定の専門医資格が混在することとなり、その扱い等問題が生じてくる。機構の専門医制度が確立して以降、適切な会則改定が必要となるとの報告があった。

④渉外委員会

東條尚子委員長より本年度の臨床検査振興セミナーを7月15日(金)に東京ガーデンパレスにて予定していることが報告された。内容は平成28年度の診療報酬改定について厚労省の方に1名、専門医会から1名を予定しており、演者を従来の3名から2名とし、質疑応答も受けながらゆっくりセミナーを開催する予定である旨の報告があった。

⑤広報委員会

木村 聡委員長より本日懇親会後に顔合わせをし、明朝8時から委員会を開催する予定。活動としては会員数を増やし、臨床検査の広報活動を行っていくこと。ホームページがあるが公式のもののため言いたいことが言えないという問題がある。リンクした形の非公式なブログ集のような物を作るのに3万円ほどかかるということだが、現在増田先生にご協力いただきながら原案を練っている旨の報告があった。

⑥保険点数委員会

古川 泰司委員長より4月以降新診療報酬の詳細を確認のメール審議を開始し、初回の委員会ではできれば検査医学会と合同で会議を持ちたいとの報告があった。

登会長より、免疫電気泳動判断料については厚労省の見解では施設内で行った検査について算定できるということだが、外注であっても医師がコメントをつければ算定されることを目指したいとの発言があった。

⑦ネットワークシステム委員会

宮崎 彩子委員長よりネットワークシステムが開始され、会員の方にも案内が届き始めている。費用については当初会員同志が質問し合えるようなシステムを230万円で作る計画だったが、その後、専門医認定更新に役立つような個人の記録をつける機能を持たせる等、将来的に拡張性のあるシステムに変更したため、90万円増額となった。50万円の値引きがあり、最終的に270万円(プラス消費税)かかることになった。平成27年度の予算で190万円、平成28年度に30万円支払い済なので残金50万円の支払いが必要との報告があった。

4. 全国検査と健康展

佐藤 麻子常任幹事より昨年度の結果について以下のような報告があった。協力医師へのアンケートの集計では、参加してよかった点は、来場者に喜ばれた、その地区の技師達と交流ができたなど。全体の三分の二は日帰りができていたので開催地区エリアの医師の方にも協力いただけている。問題点としては、今年も医師免許の提示依頼、検査と全く関係のないことを質問されて困った、また検査機器の事前打ち合わせがない、疾患がわかると称した技師会独自のアンケートの配布を企画された、等があった。これらの点は技師会に対し改善予防を出す。また、協力実績は専門医更新申請時に地域貢献ポイントとなるようにしたい。

土屋 達行常任理事より、参加協力実績が記録に残るようにしていただきたいとの発言があった。佐守 友博監事より、全国幹事に対し各地域の協力医師募集に協力していただきたい旨の発言があった。

5. 第27回(平成29年度)春季大会(熱海:大会長 〆谷直人先生)

〆谷 直人全国幹事より、第27回(平成29年度)春季大会は下記の予定で開催されることが報告された。

大会長: 〆谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院)

会 期: 2017年2月24日(金)、25日(土)

会 場: ホテルリゾーピア熱海(静岡県熱海市)

メインテーマ「臨床検査専門医のアイデンティティ」

プログラム

第1日 2月24日(金) 関連行事(ホテルリゾーピア熱海)

・13:30~15:30 生涯教育講演会 [日本臨床検査専門医会担当]

・15:40~16:30 特別講演

「臨床検査室の精度管理の仕方—品質保証のプロセス管理—」

大野 紘宇 (株式会社 CGI)

司会 〆谷 直人(大会長, 国際医療福祉大学熱海病院)

・16:35~17:55 全国幹事会 [別会場]

(講演会場で懇親会を開くにあたり1時間ほど準備のために別室で幹事会)

- ・ 18:00~20:00 懇親会

第2日 2月25日(土) 春季大会(ホテルリゾーピア熱海)

受付 8:30~

- ・ 9:00 ~ 9:05 開会挨拶
 ×谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院)
- ・ 9:05 ~ 11:05 パネルディスカッション 「望まれる臨床検査専門医とは」
 司会 (臨床検査専門医会から2名)
 1. 看護師の立場から 中畑 高子(関東中央病院副委員長・看護部長)
 2. 薬剤師の立場から 山田 成樹(藤田保健衛生大学病院薬剤部教授)
 3. 臨床検査技師の立場から 横山 一紀(神奈川県臨床衛生検査技師会会長)
 4. 臨床検査教育の教員の立場から 三村 邦裕(千葉科学大学危機管理学部教授)
- ・ 11:15~12:00 総会
- ・ 12:00 ~ 13:00 ランチョンセミナー [栄研化学]
 「POCTの歴史と今後の展望」
 菊池 春人(慶應義塾大学病院)
 司会 ×谷 直人(国際医療福祉大学熱海病院)

6. 平成28年度行事予定

三宅一徳庶務会計幹事より平成28年度年間行事予定表について報告があった。

7. その他

- 1) 登 勉会長より、日本専門医機構山田 俊幸先生から連絡があり、臨床検査専門医の英語表記を以下のようにと提案されたとの報告があった。

Certified Laboratory Physician JMB

(JMBはJapan Medical Board, Certifiedは共通で用いる)

- 2) 三宅 一徳庶務・会計幹事より、全国幹事に対し、連絡不明会員についての情報提供の依頼があった。

最後に杉浦 哲朗第26回春季大会大会長より挨拶があった。

以上をもって全議案の審議並びに報告を終了したので、議長は閉会を宣し解散した。

議事録署名人

平成 28 年 10 月 4 日

久川 聡

平成 28 年 10 月 7 日

増田 亜希子
